

活動情報

TEL 0930-23-4215 FAX 0930-23-8290
E-mail keichiku-dlc@pref.fukuoka.lg.jp
園芸畜産課 花き畜産係

No. 23 (令和8年1月28日)

京築地区花卉生産振興大会が開催される

1月23日、JA福岡京築と花卉部会が「花卉栽培で1,000万円を目指して！」をテーマとし、生産振興大会を開催しました。

大会では、JA担当職員が管内の主要品目であるホオズキ、ケイトウ等の生産概況を説明した後、宮若市でキクやシャクヤク、花木切り枝等の少量多品目生産に取り組んでいる渡邊氏とみやこ町で約50aのホオズキを栽培している木下氏が事例発表を行いました。

渡邊氏は、自分で流通量や市場販売価格を調整できるニッチな品目として「ノゲイトウ」に着目し、商品化・有利販売を行っていった経緯や他の花卉品目との収益性の比較等を発表。木下氏は、ホオズキを主体とする花卉生産を開始した後、「頭の中で考えるだけでなく書きだすこと」で、問題点を明確化し作業を効率化してきたことに加え、省力機械への投資や必要に応じた臨時雇用の重要性を訴えました。

また、大会後半では、京築産花卉の主要出荷先である名古屋、大阪の市場関係者によりニーズが高い花卉品目の紹介等も行われました。

本大会に出席した生産者と発表者の間では、ノゲイトウの栽培方法やホオズキの効率的な作業に関して熱心な質疑応答が交わされ、「若手生産者2名の講演を聴き、花卉生産を行っていくうえでのヒントや刺激を受けることができた」といった声を多く聞くことができました。

普及指導センターは、これまで取り組んできた猛暑等異常気象条件下での安定生産技術の確立や労働負荷軽減に資する省力化技術の導入推進に加え、今後は農繁期に短期雇用を活用するための作業マニュアル等を整備することで、花卉販売額1,000万円の生産者育成を支援していきます。



事例発表を行う木下氏